

現業評議会ニュース VOL.28

現業・公企 統一闘争 全単組で闘争の推進を 組合員の声を反映した要求書を提出しよう

現業評議会は、5月13日に第3回全国幹事会をウェブで開催し、46県本部95人（傍聴を含む）が参加した。経過報告では、4月に実施した総務省要請行動の内容報告、議案では8月の総会で提案予定の次年度にむけた方針の骨子案や当面の闘争方針について協議し、質疑応答を踏まえ、確認された。



自身の思いを述べる豊福県議会議員



主催者挨拶を述べる小迫議長

全国幹事会終了後には、現業・公企統一闘争決起集会を開催し、165人が参加、第1次闘争にむけた取り組みについて認識一致をはかった。

決起集会では、会計年度任用職員の処遇改善として流山市職労の菊池妙子さんから、単組の取り組み報告がされた。取り組み事例として、一時金や休暇制度の処遇改善について触れ、課題があれば、時期に関わらずいつでも交渉していくことが重要と述べた。

また先月執行された福岡県議会議員選挙で当選された豊福るみ子さんを講師に招き、「政策実現にむけて」と題した講演が行われた。講演では、自身の調理員時の現場での取り組み、また県本部や中央本部での経験を伝え、現場課題の解決にむけ「やらない理由を探すより、やるべきことを探すことが重要」と訴えた。

決意表明では笹川副議長から「全ての単組で第1次闘争から要求、交渉していこう」と述べ、最後に小迫議長の「団結がんばろう」で集会を終了した。

住民アピール行動のさらなる取り組みにむけ

現業評議会では、住民アピール行動の取り組み強化にむけ、県本部・単組で活用できる動画を作成中。内容については、私たちのことを多くの住民に知ってもらうため、現場で密着取材を行い、業務内容をはじめ、組合員の思いなどを伝えるインタビューなどで構成した、約20分のドキュメンタリー動画を企画している。

現在、学校給食調理員、学校用務員の動画を作成し、8月の総会で公開していく。さらに、一般のYouTube配信をしていく。その他の職種では、今後は清掃職員も作成し、12月の全国幹事会で公開を予定している。



(動画の撮影風景)



「現業評議会 動画まとめ」の活用を

現業評議会では、2021年11月に開催した現業セミナー以降の集会や講演をはじめ、現業・公企統一闘争推進動画、国会質疑などの動画をいつでも視聴できるように「現業評議会 動画まとめ」のサイトを作成しています。

県本部や単組での学習会に使用したり、気になる箇所だけをチェックするなど、様々な場面で利用可能です。QRコードからサイトに移動します。取り組みの強化にむけ、是非とも周知と活用をお願いします。



現業評議会ニュース VOL.28-2

第2回担い手
育成連続講座

政治との関わりを学ぶ 現場課題を組織内議員と意見交換

現業評議会は、5月14日に東京都内で第2回担い手育成連続講座を開催した。この講座は、現業運動の継承にむけ、全国から担い手を集め、様々なテーマについて学ぶ講座で、計3回開催し、第2回は政治闘争について学んだ。

講座では、鬼木まこと組織内議員を招き、労働組合が政治闘争に取り組む意義をテーマに講演が行われた。鬼木議員は原発の新增設などエネルギー政策や安保・外交政策の転換など国会状況に触れ、自治労として現場実態の改善のため、法律・制度を変えていくことが重要と述べた。さらに労働条件の改善は単組での活動が必要不可欠であるが、一方で労使交渉では限界の課題もあるため、解決するためには、組織内議員の必要性と政治闘争の重要性を訴えた。



写真上（政治闘争の重要性を述べる鬼木議員）



写真上・下（岸議員と鬼木議員との意見交換が行われ、参加者はそれぞれの現場実態や課題を訴えた）



講演後は、各班で議員に伝えたいことをテーマにグループワークを実施。各班からの発表後、岸議員と鬼木議員がそれぞれの班に入り、グループワークでまとめた現場課題について参加者と意見交換を行い、人員不足や職場・施設の老朽化など、多くの課題について組織内議員と議論を交わした。

意見交換後、岸議員・鬼木議員からまとめとして、こうした取り組みの継続と、単組においても組織内議員とのコミュニケーションを図り、職場の改善に繋げていく取り組みの実践を参加者に呼びかけた。